三和新報
THE SANWASHIMPO
第425号（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）
日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月50円
9月19日（月曜日）
発行所 三和新報社
平市田町
電話1053

裏地は申商サベリ
特約店
丸違
平東ぎんざ TEL2185

小斉君、きょう渡米
海外雄飛の夢四十年
今ぞ達す父子二代の悲願

平市から戦後初めての北米農業移民として二十四日ウイルソン号で横浜港から鹿島立つ平市新町小斉新平君(三二)はきょう午前十時三分平駅発常磐線上り急行列車で諸橋平市長はじめ友人知己多数の萬才の声に見送られ「元気で働き抜きます」と勇躍壮途についたが、新平君の今日の希望が実現するまでには父宗一郎さん(七三)と父子二代にわたる涙ぐましい海外雄飛の悲願物語がひめられている。

小斉宗一郎さんは昭和の初期まで平でも一、二といわれる雑貨商として四町目の大通り（いまの郵便局のところ）にデンと大店舗を張つていた〃米屋〃三代目の大旦那だつた。宗一郎さんの先代故宗平翁は明治の中期ごろ東京の春木座の廻り舞台を平町に再現しようと、いまの世界館のところに平座を建設し全町民をビツクリさせた紀の国や文左衛門張りの豪商だつた、この血の流れを汲んだ若き日の宗一郎さんは風雲の志やみ難くイトコの国府田啓三郎さん(七六)＝小川町出身北米移民の成功者＝と共に北米移民を計画したが、当時は手読きが面倒なため密航までくわだてて失敗、渡米狂とまでそしられたため、その足で朝鮮に渡つた、その二、三年あとに国府田さんは希望を達して渡米、今日の成功をかち得た。それから四十年も経つたいま、父の志をついだ新平君が、国府田さんを身許引受人として渡米することになつたのは奇しき因縁といえよう。後藤新平の大風呂敷にあやかれと、その名を「新平」と名付けたという宗一郎さんの夢が四十年ぶりに実現した、宗一郎さんは老いの目をしばたたいて、きょうの喜びを次のように語つた。

宗一郎さんの話

せがれの新平はもう卅二だよ、外国に行きたくてフルほどあつた嫁の口を振り切つてカカアも貰わなかつたのだ、どんな安給料でも、平に居て貰えば、安心なのだが、折角の希望だからなし、いま北米で成功している国府田の母親は米屋から出た男で俺にはイトコにあたる、俺も日露戦争に征つてきたから無性にアメリカに行きたくて国府田と一緒に密行まで企だてたものだよ、当時は本当に手続きも大変だし、第一仲々許可がおりないので、気の短い俺はとうとう朝鮮に渡つてしまつた。そのあと国府田は渡米したのだ、もう四十年になるね、その新平がこんどアメリカに行つて国府田の世話になるのだ、新平は平商出で、学校のころから海外発展の性質を持つていた。卒業後直ぐ満鉄に入つたが、余り日本人が居て面白くないと突然帰国し海南島で一生暮すつもりで南国産業に勝手に手続きして行つたのだが、入隊のため一時帰国、俺は決して死なないぞと中支に出征、まる五年間も戦つて元気で帰つてきた。それから今まで魚屋、炭鉱夫、百姓などいろいろやつたが、どの仕事も肌合に合わずに失敗、去年の春まで新潟の人に見込まれ、あつちで売炭をやつていたが、遠縁の若松君＝小川町若松晴司元中将を指す＝がアメリカの難民救済法で移民が出来るという話があつたので、新平を呼び戻したいや—その時の新平の喜びようはなかつたよ、それから丸一年半、遊ばせて食わせてきたよ。とにかくアメリカの領事館からは調べにくるし、それ仙台だ、福島だと何回手続きだの、なんだのと通つたものだか、難民救済どころの話ではない、何万円も使つたよ、その間、無口の新平は何一つ話もしない、ここまで尻押ししたのもこのオヤジさ。とにかく若い者が、せまい日本でカカアをもつて子供を生んでいたつて仕様がないからね新平は一生アメリカに住み向うの土になつて貰いたい。こつちはヂデイ、ババアで大丈夫だ、ハツハハハ。

先駆者小斉新平君の門出

昭和の初め、そろそろ軍部が頭をもたげて満洲事変をおこしたころから、政府は北進論をとつて満蒙広野の開拓を提唱、一方小磯拓務大臣などが南進論をとなえ国論はまちまちとなつた。そのころ国内の元気な青年たちの間に〃せまい日本には住みあきたアー〃という「馬賊の唄」が大流行し、拓植大学は慶応、早稲田をしのぐ隆盛ぶりだつた当時の青年は英雄、豪傑にあこがれ未開の宝庫を目指して海外へ、海外へと進出した、世の中はいま以上の不景気でフトコロには一銭の金もないくせに職人などは〃宵越しの金は使えねえ〃など威勢のよいところを見せていた、夢のある楽しい世の中であつた。

きよう北米移民として平を発つた小斉新平君も当時大きな野望に胸ふくらませて渡満したが、戦争のためその夢を破られた、戦後の青年はアメリカイズム的に目先の功利主義にだけとらわれて勘定高い大人に育てあげられ、青年らしい覇気が失なわれ勝ちとなつた、これも戦争のため八千萬国民がこんな小さい島国にヒシメキ合つているのだから自分を守ることを知らなければ生存競走の圏外に追いやられるのだから止むを得ないことだといえる、うらむべきは戦争である、戦後十年にして小斉君の渡米は平市にとつて最近にないヒツト版である、小斉君は復員後もずつと外国に行きたくて足手まといになる妻を迎えずチヤンスをねらつていたとのことである、愉快な話ではないか、この意志、この気持を持つてアメリカで頑張つて貰いたい、世は正に原爆が平和産業にとり入れられ夢想だに考えられなかつた物質文明の高度に発達した社会が訪れようとしている、平から東京へ行くくらいの気持でアメリカから来られるようになるだろう、その時はチヨイチヨイ帰つて来てアチラの話などを聞かせて後進の海外雄飛の夢をかき立ててほしい。

植田職安所員 給料持ち逃げ

平職安所植田分庁舎（主任阿部文好氏）に公金横領事件が発生した同庁舎業務係玉川清(三二)は去る十六日の俸給支払日に平職安所から同分庁舎阿部主任以下全職員九名分の九月分俸給七萬五千円を受取り同職安所を正午ごろ出たまま行方不明になつたと十七日勿来署に届出た、同署では公金横領容疑で指名手配した、玉川は妻帯しているが子供はなく、月収は約一万円実家の山形県米沢署に連絡し捜査中

阿部主任談＝玉川君は日頃から真面目な信頼の出来る部下だつたので、こんな事件をおこしたことに納得が出来ない、勿論遊興費に費つたとは思えない

御厩小二部授業
住宅ブームで転入ふえ

内郷市御厩小では近年住宅ブームで常磐炭鉱金谷保養所、磐城共立病院、福島労災病院、平電話中継所自動車検査場などが設立され学区内に新市街が構成され転入者が激増の一途をたどつているため児童数がふえ教室不足で悲鳴をあげているが現在では図画室まで教室に代用しており一学級六十人にものぼつている学級もあるというが所謂復員児童が三十年度から激増してくるので三十四年度までには四百五十人から六百五十人にたつするといい商店街の繁栄にともなう転入児童も多く予想されるのでこのままでは二部授業をする他に方法がないといわれている。

タバコ泥

平署では十九日平市鎌田町生れ住居不定無職堀川文夫(三七)を窃盗の疑いで逮捕した去る八月下旬ごろ市内鎌田町の少年A(一八)と共謀し月見町雑貨商阿部孝雄さん方のウインドーを破りピース、光など一萬円相当を盗んだもの。

大場選手が優勝 常磐

石城体協と同高校体連盟主催の復活第一回四倉—平間十二キロのロードレースは十八日行われた。このレースは一般と高校の部にわかれ四倉町海気館前を一斉にスタートして熱戦を展開、平市常陽銀行前決勝点にゴールインした。

▽一般 ①大場辰雄（常磐）43分18秒②猪狩（古河）③御代（常磐）

▽高校 ①後藤正二（内郷）44分7秒②江尻(同)③宍戸（磐城）

捜査難航か
内郷の二人組強盗

十八日午前四時三十分ごろ内郷市内町小学校（校長坂本朋之氏）に二人組強盗が押し入り宿直室に寝ていた園部正孝先生(三五)をおどかした出刃包丁の二人組強盗捜査に内郷署では全署員あげて躍起となつているが、まだ犯人の足がかりもつかめず正に〃姿なき怪盗〃張りである

とにかく寝ていた園部先生をやにわに①麻ロープでしばりつけ②風呂敷で目かくし③フトンで寿し巻にして動けなくしたうえ④一人が見張り⑤一人が持つてきた出刃包丁でおどかすという型通りのやりかたで市民を恐怖におとし入れた被害は金目のものがなかつたので園部先生のズボン、ワイシヤツ、バンドと職員室から現金二百円を奪つて逃走した、なお犯人は二人とも二十三、四才、黒のジヤンバーに黒ズボン履き

小名高優勝
浜通高校辯論

浜通り高校雄弁連盟主催の第八回常磐交通社長優勝楯県下浜通り高校弁論大会は十八日平市公会堂で二十弁士が熱弁を振い次の入賞が決つた。

【個人】①「私の幸福論」田村敏子（小名高）②「歴史と私達の立場」玉村充規（小名高）③「若人よ裸になれ」大平徹（小名高）④「小さな力大きな力」児玉保（平工高）⑤「絶えざるあゆみ」泰明（平工高）

【団体】①小名高②平工高

健保作文募集 十月一日の国民健康保険記念日を祝して平市では市内小中学生から「健康保険について」と題し作文を懸賞応募する。〆切は三十日。

常磐市会協議会

常磐市会全員協議会は十八日午前十時から市役所会議室にひらき難航を続けている温泉問題について協議した。

泥棒は再犯者だけ
一カ月間の少年犯罪統計

内郷署では八月十日から九月十日まで一カ月間少年犯罪取締を行い窃盗犯二十二名を検挙した。年令的にみると十四才未満五人、十四才から十八才まで八人、十八才から二十才まで九人となつており初犯者は一人もなく全員再犯者で八月末まで横ばえだつたが九月に入つてからふえはじめたという貧困家庭の子供が多いという。

内郷民生委 内郷市民生委員協議会は二十日午前十時から内高にひらき民生事業計画ならびに共同募金について協議する。

婦人指導者講習會

常磐市教育委員会主催の婦人指導者講習会は二十九、三十の両日午前八時から浅貝保養所にひらく、日程は次の通り

▽二十九日オリエンテイーション（国井一美）グループワーク（島崎忠好）婦人団体の任務（山本なか）▽三十日プログラム作成の原理と方法（山本なか）婦人学級と婦人団体の関係（山本なか）デスカツシヨンおよび地域課題と婦人の団体活動（吉田幸）

演劇、山岳部を新設
常磐文協

常磐市文化協会ではこのほど演劇部（一九人）山岳部（一二人）の二部を新設したが山岳部では十八日二ツ箭山に登山することになり演劇部では秋田名物「なまはげ」という一幕喜劇を上演することになり猛練習を開始した。なお同会では二十日ころ小野田地区で街頭映写会、三十日は湯の岳頂上で中秋の名月観賞会をひらくことになつているが近く若松紀志子女史を招きコーラスクラブも結成することになり活動が期待されている。

磐高、東北代表に

県高校籠球代表として秋田市で行われていた東北大会に駒を進めていた磐高チームは一回戦に東北高校を六十対五五で、第二回戦秋田工業を六六対四七でしりぞけ決勝に進出、十八日の決勝戦青森代表の八戸高校を四五対四三で破り輝く優勝をとげ十月十七日神奈川県で行われる国体に東北代表として出場することになつた。

一位は吉田さん
釣大会の成績

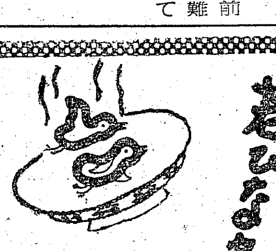
平釣友会（会長鈴木一男さん）では十八日三和村永井ダムで会員五十二名が参加、第一回の大会入賞が決つた

▽一位市長賞吉田国太郎さん二十五匹▽二位商工会議所会頭楯鈴木俊夫さん二十四匹▽三位長瀬忠比古さん二十三匹▽大物賞釣友会長カツプ川又新一さんウグイ九寸

AOC製世界最新式検眼機
玉屋眼鏡店
TEL910

御婚禮の贈物に
腕時計、枕時計
オルゴールスタンド
時計は金光堂
平5. TEL195

平名物
若ひな鳥料理
不二屋
平市中央通り TEL 886・1750



壽司 小料理
みしま
平市田町
電九一五番

板ガラス・鏡
陳列ケース
秋風と共に家屋のお手入れの時期が参りました。
◎自動車用窓ガラス◎家庭用窓ガラス◎陳列ケース
平市平和通り
会田硝子店
TEL.363

整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
入院随時
福島県平市三十米道路
財団法人
竹林病院
院長 竹林貞吉
電話六〇八番 八一一番

原型第一号に寄せて（上）

＝一派の人々＝

芳賀他郷

（女は男によつて作られる）と云う有名な言葉があるが、その意味では原型第一号の詩も俳句も詩人より俳人により作られたものばかりである。最近の風潮は投書時代又は作文時代と云われ一般人の表現能力が飛躍的に高揚されつゝあることは喜ばしい限りではある。ちなみに或る出版社では投書のみによる月刊雑誌を経営しているがしかも優秀な営業成績を挙げているそうである。それに便乗した訳でもあるまいが、文壇や一般ジヤナリズム界でも中間読物、中間批評、中間随筆と負けず劣らずに専門家が専門の事をごくくだいて書いたり。外のことを喋つたりすることが一種の流行になつている。云わずもがなの事ではあるが佐藤弘人氏の（はだか随筆）と云う軽随筆はここ二年位ベストセラー続きである。うらやましい次第である。しかし原型第一号は決してそのような流行の波に乗つて、表現意慾の逞ましいところを見ていただこうなどと云うけちな算盤ははじいていないのである。あくまでも文学の正統の道を純粋に進むことによつて作られるべくして作られたと云うべきであろう。詩と云い俳句と云い、地方、中央を問わず、グループで出されている同人誌と比較しても、いさゝかの遜色も認められない立派な作品が揃つているのである。自画自賛ではない資料を持つての発言なのである従つて原型第一号はこの意味で一派の人々の手になる短詩型の作品群によつて構成された同人誌と云えそうである。近い将来には短歌創作、エツセイに至るまで手を拡げて発表し詩俳誌的なものから文芸誌的な所まで持つて行き、しかも月刊の線を崩さずに維持して行く方針を取つているのである。ここでちよつとお断りをして置くが原型は同人誌ではあるが、それだからと云つて特別なイデオロギーを掲げるものではないのである。一流ではなくとも、一派の人である限り、同人各自のイデオロギーが作品を通して盛りこまれ、織りこまれてあることは勿論であるが特に同人誌として統一した主張や特定なイデオロギーを持つことなしに、原型は同人諸兄の多彩な作品を取り上げることのみで、必然的により高く、より巾広い活動的な性質を持つようになると思うのである。お粗末なツマミ喰い的恋愛にもにた文芸類似作品の横行する折から一服の清涼剤に当るものと自負してはばからないのである。つまみ喰い的恋愛と云えば、私自身としては性の問題に関する限り洋の東西を問わず、これほど現代に至るも尚疑問に充ちたものはあるまいと思つている。性の本質が究明されず、その周囲だけがいたずらに掻きまわされ掘り起されたにすぎないのではあるまいかと思うのである。性とは人間の颱風の目であり核である性の本質に就いては今もつて何一つ知らされていないと云うのが、正しい考え方であると思うのである。先頃問題になつた伊藤整氏のチヤタレー夫人の恋人の問題にしろ、また発禁になつたヘンリーミラーの書にしろ危険物扱いにし、たまたま同情的に云う人も、あれは性のみにあらず性の背後の思想が問題なのである。性を通して人間存在の高い倫理性の追求がなされてあるのだから決して赤本と同一視することは出来ないだろうと批評するのである。しかし、しかしである。性それ自身の追求であつては何故悪いのであろう。例えば、フックスの風俗史のように性そのものゝ追求こそ、もつともつと行なわれてしかるべきであると思う者であるが大方の考えを聞き度い所である。とこれは私自身の日頃の考えを述べてしまつたが、性に関しては原型同人の全部がこのような考えを持つものではなく、又原型がこのような作品で埋められているのではないことは論をまたない。ではこの辺ですこしく同人諸兄の作品に触れてみよう。（つゞく）

大貫、木山對談

○…常磐炭鉱の木山総務部次長、このあいだ東京本社に行つたとき大貫会長から

「木山君は田舎者だからシネラマを見たことがないだろう、見てゆき給え」

といわれ内心、大いにフンガイ

「シネマラとはなんですか」

と逆襲したところ大貫会長、平然として

「シネラマとは色つき活動写真のことだ」

木山次長、思わず舌打ち

「チエツ、手めえこそ田舎者だア」

息が切れる

○…内郷署の本名巡査の机の上にはもう何年も使い古したというような古ハサミが乗つている、ツメなど切ろうものなら息が切れるばかりという代物、だが彼氏は前任者の使い古したものだが、尊敬していた人だけに勿体なくて捨てられないと人情の厚いところを見せていた。

忘れないでね

○…常磐市温泉旅館組合では水石山ゴルフ場に共同出資で百万円ぐらいの予算でバンガローをつくる計画を進めている、ところが何より山が大好きだという松柏館の比佐さんーもう商売なんか、そつちのけにして張り切つている、若しバンガローが出来たらと心配なのは家の子郎党「本家本元を忘れないでね」。

「はだか鉛筆」休載について謹告

本欄に連載の「はだか鉛筆」は、あまりに反響が大きいため当分の間、休載することになりました。

運動会シーズン

○…秋の空はつきぬけるように青い空のなかで色づきはじめる。あちらの学校でもこちらの学校でも秋季運動会が萬国旗のなかで賑やかにくりひろげられ、子供たちは「赤勝て、白勝て」と、運動会ごつこに余念がない。秋の空気は乾燥して肌ざわりもサラサラとしてくる。絶好のシーズンなのは運動会ばかりではない。運動会ごつこで疲れた坊やはぐつすり眠る。真の夜中、突然、坊やが、高い声をあげた。

「父ちやん負けた、母ちやん負けた、父ちやん勝て、母ちやん勝て！」

そして、天高く馬は肥え、お母ちやんのおなかもふくらんできた。

この気持わかる

○…男には老けて見られたいし、女には若く見てもらいたいというのが人の常、男からまだ若いねーと言われた内郷署の野木巡査「いくらヒゲが薄いからといつたつて失礼だね」という、話合つているところに年若い某子さんがやつてきた「もう三十そこそこかね」と問い返したトタン「ふざけちやいけない、三十とはひどいよ」。この気持かわる。

ルテホカー

○…新田町のある姐さん、この夏同僚と東山温泉に週末旅行をした時の話、郡山から磐越東線に乗りかえて岩代熱海を通過したところ「あら、ルテホカーつてどんな意味なのかしら」ときらめく一力ホテルのネオンを指さしてつぶやいた この秋はボクも彼女とルテホカーへゆくです。といつた男が平市役所にいる。

このごろの若いひと⑤

青春のない青年たち

常磐市社会教育委員　津田逸郎

私の周囲にはたくさんの青年がいるが、この青年たちはあまり人見知りをしない。内放的な青年たちではなくすべて外交的で多くのことを現象的にとらえテキパキと処理してゆく。行動性があるというのが一昔前の青白きインテリたちとは一寸ちがつた相貌をおびているだけにニユアンスはない。悪くいうとどこか大人びており青春時を一足とびに飛び越して大人になつてしまつたのではないかと思われるフシがあるようだ。それでよいのかもしれないが私たち卅年代から言わせると一寸さびしいような気がしないでもない。世代の相違でどうしようもない変移なんだろうが何か欠けていやしないかとしみじみ感ずるのだがどうなのだろう。バツクボーンといつておかしければ三角形の底辺のようなものなのである。つまり行動性といつてもそれを支えているものが何か薄弱なような気がしてならないところが妙なことに私はこの若い男たちになくなつているものがかえつて女子青年の中に生れはじめているような気がするのだがヒガ目だろうか。とにかく女子青年たちは成長しつつある。男性たちに虐げられてきた哀しい歴史を背負つているからなのか、世間えのめざめがかたいツボミをひらくように開きつつあることは一つの真実のようである。冬を越してきたツボミたちの春も「遠からじ」であろう。

今晩のラジオ

◎NHK第一放送

六・〇〇＝子供のシンブン、山の大将
六・二五＝ドラマ「オテナの塔」
六・四五＝郷土物語
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝三ツの歌
八・〇〇＝お父さんはお人好し
八・三〇＝浪曲「しいのみ学園」
九・〇〇＝ニュース解説
九・一五＝街頭録音「映画観賞禁止をめぐつて」
九・四〇＝春子の手帳
一〇・一五＝新家庭読本
一〇・四〇＝風流歌草紙

◎ラジオ福島

六・〇五＝消える孤島
六・一五＝王女ナスカ
六・四〇＝父を訪ねて一万キロ
七・一五＝ドラマ「新選組」
七・三〇＝君の歌僕の歌
八・〇〇＝演芸廿辛亭
八・三〇＝浪花一代男
八・五〇＝糸の調べ
九・〇〇＝ユーモア千一夜
九・三〇＝投資家サロン
九・四五＝夜の調べ
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝大相撲秋場所実況録音
一〇・三五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝浪曲名調アルバム

今晩の映画（一九日）

◇聚楽館　三四郎　旅路（六、三〇）
◇世界館　わが名はペテン師　新女性問答（六、五六）
◇平館　大岡政談　由起子（六、五八）
◇ひかり座（二十六日まで）アリゾナの襲撃　砂漠は生きている（七、一五）
◇東映　マンボ石松踊り　謎の伏魔殿（七、一五）
◇民劇（一九日まで）拳銃無情　赤いベレー（七、〇〇）
◇第二いわき（二十一日まで）カーニバルの女　二ツの世界の男（六、二〇）
◇緞映劇（二〇日まで）おしゆん捕物帳　蜜月旅行（七、〇〇）

①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

今秋のモード

肌着は薄手ものに

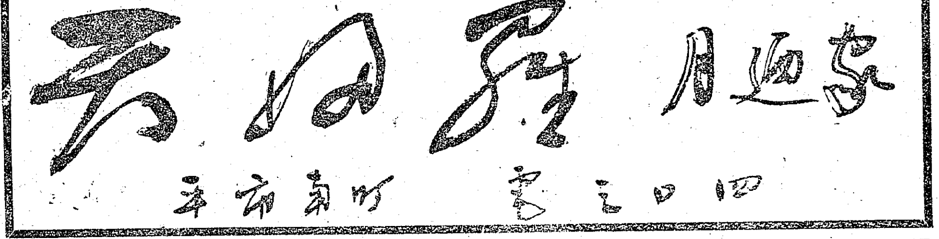
下着類は衣類のうちでも目につかないためとりあげていうほど変りはない。ただ織紡技術が発達したため糸が細くなつたので一般に薄手になつてきている。スタイルをよくするという意味からも、女性には喜ばれている。保温は決して劣つてはいない。

（ツルヤ洋品店）

木材の百貨店
一般建築材・建具材
ベニヤ板類・銘木・秋田杉
津島松・木そ桧・ラワン材
米杉・車輛材・枕木・電柱
株式会社　瀧口豊材木店
工場　平市稲荷町電556
平市五丁目電290

紙製品
文具・紙
㊫
電1891
夜間313
魁文堂卸売部

祖國印
地下足袋
運動靴
長靴
袋屋本店



舌代
毎度お引立有難うございます。
今般郷土お土産品と致しまして磐門の塩屋崎灯台をあしらいまして銘菓〃志お屋崎〃を発売致すことになりました。お土産にご贈答用に是非御利用の程お願い申上げます。
なお、鉄道弘済会指定品として駅売り致しております
店主謹白
いわきまんじゆう
志お屋崎 製造本舗
開花亭パン店
平市五丁目　電三四二番

看板
ネオン
平AD社
TEL1300

性病科
皮膚病
平市古鍛治町（県社下）
矢吹医院
電話一、一九三番

プロパンガス
ガス導管のない処で使えるガス
火力が強くて安全なガス

是非御試し下さい
どこでもいつでもすぐ間に合うガスの罐詰
液化プロパン

……経済清潔簡便安全を……
……プロパンガスは必ず……
……皆様の御満足をいただけると思います……
御一報次第何時でも係員が参上致します
東部産業株式会社　TEL242